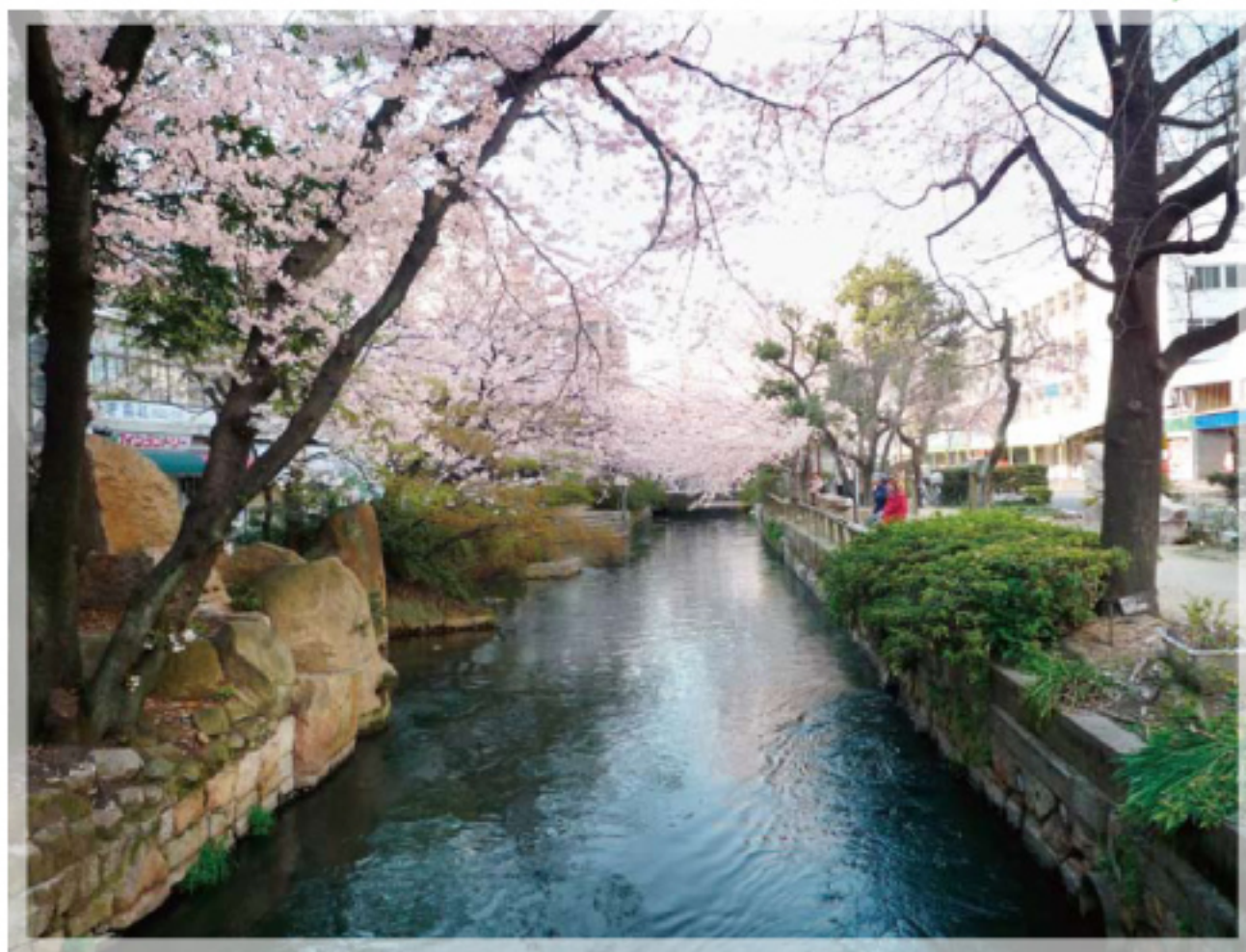


川崎医科大学附属病院 がんセンターNEWS

Vol.7 2011 春号



西川緑道公園：撮影 園尾 博司

- 消化器外科のご紹介
- 第8回 市民公開講座レポート
- 第21回日本乳癌検診学会学術総会開催のご案内
- 第15回緩和ケアフォーラム in 岡山レポート
- オンコロジナーズ養成研修レポート

インフォメーション

- がんセンター活動予定
- オープンカンファレンスのご案内



このたびの東北地方太平洋沖地震および長野県北部を震源とする地震被害を受けられたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

消化器外科のご紹介

消化器外科部長 平井 敏弘

消化器外科には4月1日現在14名が在籍しています。5名が大学院生ですが、そのうち4名はがんプロフェッショナル養成コースの大学院生で、臨床をしながら大学院で学び、外科および消化器外科専門医と医学博士の両者の取得を目指して



ています。研究テーマは癌および化学療法、侵襲、栄養に関するものですが、外科治療の成績向上に直結するテーマを選ぶようにしています。当科は上部消化管、下部消化管、肝・胆・膵の各グループがあり、年間700例の全麻手術を行っています。症例は悪性腫瘍に限らず、良性疾患および救急疾患と幅広く行っています。また各分野において鏡視下手術にも積極的に取り組み、さらに化学療法や栄養療法、また臨床腫瘍科の協力を得ながら免疫療法や緩和医療も行っています。「患者の期待にこたえられる外科治療」をモットーに、先進医療はもちろんのこと、チーム医療に基づいた全人的医療に取り組んでいます。

第8回市民公開講座

『みんなでつくろう、地域で支えよう、がん患者さんの支援の輪』

～がん「患者必携」岡山の取り組みに向けて～ レポート 臨床腫瘍科部長 山口 佳之

平成23年1月15日土曜日13:30～16:00、川崎医科大学メディカルミュージアムにおいて市民公開講座を開催させていただきました。がんになったとき遭遇する患者さんの「不安」を払拭するための情報提供である。同時に、国、県、地域、病院それぞれ異なる立場でどのように活動しているのか、互いに把握し情報交換することで、今後の新たな活動のヒントにすることを狙った企画である。

まず、基調講演として厚生労働科学研究費補助金(がん臨床研究事業)「地域におけるがん対策の推進と患者支援に資する介入モデルの作成に関する研究班」班長である国立がん研究センターがん対策情報センター 渡邊清高先生より、「地域社会でのがん患者支援」をご講演いただいた。がんになっても、これさえあれば安心という一冊「患者必携」を国として整備する試みが報告され、全国に普及しつつあることが示された。

続いてパネルディスカッションが開始された。まず岡山県のがん対策について、岡山県医療推進課副参事 前原幹子先生より現状報告をいただいた。今年度から、がん患者支援情報サイトとして県のホームページ「岡山がんサポート情報」を開設し、相談支援センターや患者団体の紹介コーナーなど、がんに関する各種情報を提供する活動が報告された。

倉敷地域での活動として、倉敷第一病院診療部長 竹内龍三先生より、地域一体型緩和ケアネットワークの確立に向けた活動報告があった。「緩和ケアフォーラムin岡山」という研究会を設立し、顔の見える関係づくり、「地域で診る、地域で看る」体制づくりの報告があった。

川崎医科大学附属病院の活動として、呼吸器外科部長 中田昌男先生から、地域連携パスとがんサロンの報告があった。地域連携パスでは、同じ情報を患者・がん専門病院・地域のかかりつけ医の3者が共有することで、地域医療の絆を強くすることができる。また、がんサロンは、がん患者や家族と医療従事者が一堂に会して悩みや体験を語り合い、情報交換を通じて癒しの効果が得られることが報告された。

最後に、NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会理事長 松本陽子先生より、患者としてできる活動報告があった。「家族必携」では、患者を支えた経験者が後に続く人のために「知っておきたい情報」および「心構え」が小冊子にまとめられ、家族の辛さ、不安に寄り添うことが主眼となっている。がん治療周辺の不安や負担は、地域社会のさまざまな立場の人たちの知恵と工夫で軽減できることが協調された。

総合討論として、医療費情報や利用できる医療資源など「情報提供」の役割は果たせたように思う。一方で、このような情報をいかに患者さんご家族にお届けするか、今後の課題が明らかとなり、有意義な市民公開講座となった。



第21回 日本乳癌検診学会学術総会開催のご案内

会長 園尾 博司 (乳腺甲状腺外科部長)

この度、第21回日本乳癌検診学会学術総会を岡山市で開催いたします。
会期は平成23年10月21日(金)～22日(土)、会場は岡山コンベンションセンターです。

今回のテーマは「実現可能で有効な乳がん検診システムの構築」と致しました。我国では2000年からMMGが検診に導入され、この10年間はMMGの読影技術や撮影技術の革命的な進歩がみられます。しかし、残念ながらMMG検診の受診率は15%程度と低迷しています。これは受診者個人の問題のみならず、現行の検診システムにも問題があると考えられます。

そこで今回は「検診システム」にテーマを絞って、海外の先生方にも加わっていただき、シンポジウムやワークショップ、ポスター討論を行います。そのほか会員の皆様の実力アップを図るためのマンモグラフィと超音波検査の教育プログラムをご用意しております。

当教室のスタッフ一同、多数の皆様のお越しをお待ちしております



第15回 緩和ケアフォーラム in 岡山レポート

平成23年1月23日、倉敷第一病院SAMホールにおいて、第15回緩和ケアフォーラムin岡山が開催された。本会は、岡山西南地区における緩和ケアの強化・充実、在宅ケアの活性化に向けた情報交換、切れ目のない連携パスの完成と実践を目的に平成19年に設立され、年4回の勉強会を行っている。今回は初めて会員によるシンポジウムを行い、84名が参加した。シンポジストは、山口佳之先生(川崎医科大学臨床腫瘍科)、福田展之先生(倉敷第一病院緩和ケア内科)、今井博之先生(イマイクリニック)、中村幸伸先生(つばさクリニック)、大野幸恵先生(倉敷いげい訪問看護ステーション)の5名で、各施設の現状、今後の展望が話し合わせ、緩和医療に関する各施設の顔の見える連携の重要性が再認識された。本会はメールでの情報交換も行っているの、お困りの症例や知りたい情報があれば利用していただきたい。

緩和ケアフォーラムin岡山

代表世話人 川崎医科大学附属病院
消化器外科部長 平井 敏弘

事務局 川崎医科大学 臨床腫瘍学教室
kasco@med.kawasaki-m.ac.jp

メーリングリストご加入の際は上記にメールをお願いします。

文責: 緩和ケアフォーラムin岡山 代表世話人 平井敏弘

院内オンコロジーナース養成研修レポート

看護部では平成22年11月より1年6ヶ月コースで、がん看護の専門教育プログラム「院内オンコロジーナース養成研修」を開講しました。

1期生として5年以上の臨床経験を有し、がん看護の専門的知識を深めることを希望する看護師8名が受講中です。院内でリーダーシップを発揮し、がん患者とご家族により質の高い看護を提供できることを目指していきたいと考えています。



がんセンター活動予定

第9回Cancer Seminar (医療関係者向け)

日時:平成23年6月11日(土) 13:30~16:30
場所:川崎医科大学 現代医学教育博物館 2階大講堂

緩和ケア研修会 (医師対象)

日時:平成23年8月27日(土) 午後~28日(日)
場所:川崎医科大学 校舎棟8階 M801教室

第6回Oncology Seminar (看護師・コメディカル向け) 「がん患者QOLの維持・向上を支援する」

日時:平成23年9月3日(土) 13:30~16:00
場所:川崎医科大学 校舎棟7階 M702教室

第9区市民公開講座 川崎医科大学附属病院がんサロン 「がんとともに、自分らしく」

日時:平成23年9月17日(土) 13:30~16:00
場所:川崎医科大学 校舎棟7・8階ラウンジ

オープンカンファレンスのご案内

下記のカンファレンスを行っています。
参加ご希望の際は地域医療連携室までご連絡をお願いします。

呼吸器カンファレンス

呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科(診断・核医学) 合同で「呼吸器X線カンファレンス」を行っています。院外の先生方もどうぞご参加ください。気になる症例がありましたらレントゲンをお持ちいただいても結構です。

日時 第2・4月曜日 18:00 ~ 19:00
場所 9階中病棟 第2カンファレンス室

大腸癌化学療法カンファレンス

外科・内科・臨床腫瘍科・放射線科の医師・看護師・薬剤師など多職種からなる医療チームで、外来大腸悪性腫瘍に対する治療方針(化学・放射線療法プロトコール・手術介入など)の決定についてのカンファレンスを行います。院外の先生方や医療スタッフの皆さまもどうぞご参加ください。

日時 第1・3金曜日 17:30 ~ 19:00
場所 本館10階 遠院治療センター

緩和ケアカンファレンス

毎週木曜日13:15から14階西カンファレンス室で緩和ケアチームのカンファレンスを行っています。

Case Conference

各診療科から症例を提示し、その診断と治療およびケアについて複数の診療科で、また医師・看護師のみならず広くコメディカルも参加して横断的かつ総合的に討論し勉強する症例検討会です。

日時 第2木曜日 18:00~19:00
場所 川崎医科大学 校舎棟M703号教室

Nutrition Support Team(NST)カンファレンス

毎週火曜日14:00から14階南カンファレンス室でNSTミーティングと勉強会を約1時間行っています。どなたでも参加可能です。



川崎医科大学附属病院

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577
TEL 086-462-1111(代表)
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/>

紹介患者さま受診予約窓口

■地域医療連携室

TEL (086) 462-1111(内線22611・22613)
FAX (086) 464-1166
E-mail renkei@med.kawasaki-m.ac.jp